

絹笠山トレッキングコース

この道は絹笠山（870 m）山頂へと至る。雲仙温泉から最もアクセスしやすいハイキングコースなので、この初心者・家族向けのコースは 100 年以上前から観光客に人気がある。19 世紀末に雲仙で休暇を楽しんだ初めての西洋人グループは、ここを橘湾の向こうに見える美しい夕日から「夕日の丘」と名付けた。当時、丘は羊の放牧に使われていて、竹や低木、雑草でほぼ覆われていた。これらの低い植物は丘の上からの素晴らしい眺めを邪魔しなかった。しかし第二次世界大戦後、羊の見張りはなくなり、森の古い牧草地が再生した。今日、絹笠山の森は多くの鳴き鳥とこの地方の植物の生育地である。丘の上の展望台からは、広がる森の上の、温泉、火山が東にあり輝く湾が西にある、美しい周囲 360 度を見渡せる。

地質学的歴史

絹笠山は雲仙の何度も繰り返した火山活動のうち 25 万年前に形成された。絹笠山の麓の池は白雲の池である。この池は、おそらく江戸時代（1603-1876 年）に作られ、池の近くには手水鉢、ヒノキや杉の御神木がある。これらには神聖な関係があり、この場所が宗教的な集いの場であつたらしきことが伺える。